

# 駿河台の講義を成田で聴いてみませんか

受講生募集は3月1日(金)から



5月から開講する明治大学・成田社会人大学。6年目を迎える今回は内容のさらなる充実を図りながら、しかも「気軽に楽しく」受講できるように計画されています。あなたの生活に「学ぶ楽しさ」を加えてみてはいかがでしょうか。



過去に受講した課程の申し込みも可能に(会場となる市役所6階の大会議室で)

平成14年度の講座は、昨年と同様に「コティネーター」制が導入され、受講生が「参加する」講義を目指します。「コティネーター」との話し合いの時間や、受講生の発表の場も設けられます。各課程のテーマは次のとおりです。

「コティネーター」とは、明治大学の教授陣の中で選ばれた主たる担当教授です。年間テーマに対する学習到達目標の設定や、その目標に向けての調整を行います。

## 各課程のテーマ

### 国際社会課程

「ITで変わるわたしたちの生活」

コティネーター 阪井和男(法学部教授)

「IT(情報通信技術)革命にかかわるテーマを取りあげます。昨年度より一歩進んだ内容で、ITがわたしたちの生活とどうにかかわっているのか、多彩な講師陣と共に学び、多角的な理解を深めていきます。(パソコン)研修ではありません」

### 地域社会課程

「地域で進める社会と福祉」

コティネーター 岩内亮一(経営学部教授)

六田義孝(政治経済学部教授)

少子高齢化時代の下で地域社会のあり方(国際社会を含む)や福祉問題を探り、さらに楽しく生き生きと暮らせるまちづくりについて考えます。受講生との交流を中心としたゼミナール形式の授業を取り入れて、参加する学習を目指します。

### 緑地環境課程

「身近な環境・身近な自然」

コティネーター 奥水 肇(農学部教授)

山下義孝(農学部教授)

近郊の里山を取り上げ、その自然環境の特徴を把握し、都市生活とのかかわりから緑の意義と保全の方策を考え、うるおいのある快適な環境の実現を目指す方法を学びます。また、唯一実習がある課程で、市民農園を利用して野菜を作ります。(「キウウリ」と「サツマイモ」を予定)

## 受講生の募集は3月1日から

受講生の募集は3月1日から始まります。

各課程の開催日時や受講料・募集方法については、広報なりた3月1日号に掲載します。



大根の種まき実習

くわしくは生涯学習課(020)1583(入)へ。

13年度の講座より  
見学会や発表会など多彩に

この講座は、市役所で開かれる年10回の講義のほかにも、フィールドワークや、受講生による「学習成果発表会」、緑地環境課程での実習など、受講生同士が交流を深める機会がたくさんあります。

フィールドワーク

3課程合同で神田駿河台にある明治大学を訪問し、オープンしたばかりの図書館を見学しました。最新のパソコンを使って、本の検索などを体験しました。



心は、現役明大生（明治大学図書館で）

受講生による学習成果発表会

初めての企画として、各課程の代表者が1年間の学習成果を発表しました。当日は一般公開とし、受講生以外にも参加者を募り、多くのみなさんに発表を聞いていただきました。



「シルバー世代のIT革命」をテーマに発表する代表者

緑地環境課程の実習

十余三の市民農園で、「大根」と「春菊」を栽培しました。できた大根は、「ピル漬け」「焼酎漬け」などに加工して、受講生で試食しました。



漬物名人に近づきました（緑地環境課程での実習）

今回は13年度各課程の修了生より黒岩恵子さん（国際社会課程）・秋山行宏さん（地域社会課程）・村上勇一さん（緑地環境課程）に、講座を振り返って感想を伺ってみました。



黒岩恵子さん  
（中台）  
国際社会課程

「IT革命を理解する」をテーマに、世の中がどう変わってゆくのかを、具体的な事例と共に話を聴くことができました。「機械化を進めると後戻りできなくなる」という講師の言葉が印象的でした。便利にはなりますが、いいことづくめではないことも再認識です。新鮮な題材で楽しく学び、いっそう興味がわいてきました。



秋山行宏さん  
（押畑）  
地域社会課程

「住みたいまち成田を考える」をテーマに、税金・予算・選挙などの基本的な仕組みについて学びました。グループに分かれ討議をする時間もありませんでしたが、空港・農村、住宅街、門前町が混在する成田の将来について、講師ともう少し掘り下げた意見交換をしたかったですね。この講座も受講しようと思っています。



村上勇一さん  
（幸町）  
緑地環境課程

家庭菜園や庭木の手入れなどを行っていますので、参考になればと思います。成田市では、都市、緑化、住宅、景観、環境などが基本計画に基づき実施されていることが分かり良かったです。実習で習ったミカンの接ぎ木。春に芽が伸びてきたら、別の種類の木でチャレンジしてみます。



山田雄一  
明治大学学長

毎年、薫風がある5月に成田で始まる「明治大学・成田社会人大学」。本年も開講できることを大変うれしく思います。

1997年に成田市と明治大学が共同で開講した同社会人大学は、本年で6回目を迎え、修了者は過去5年間で延べ700人になりました。

「国際社会課程」、「地域社会課程」、「緑地環境課程」の3課程からなる講座を、明治大学の各分野の第一人者が担当します。土曜日の午前、または午後のひとときをアカデミックな風に触れていただき、ぜひ豊かな教養を身に付ける機会としていただければ幸いです。多くの市民のみなさんが受講されることを希望いたします。